

鹿児島地本だより

第53号
(令和8年 夏号)

発行元 自衛隊
鹿児島地方協力本部

印刷所
南日本出版株式会社



本部長ご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長

1等海佐 川畑 信一

平素から、防衛協会、自衛隊家族会、隊友会、地本後援会、就職援護協会などの各協力団体並びに企業主、募集相談員などの皆様におかれましては、防衛省・自衛隊の活動並びに自衛隊鹿児島地方協力本部の業務に対しまして、深いご理解と絶大なるご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

令和七年度の募集業務においては、延べ千二百二十六名の受験者、総勢三百二十六名の入隊・入校者を獲得することができました。一部種目については、目標にわずかに及ばなかったものの全体としては、目標を達成することができました。就職援護業務においては、定年制、任期制ともに就職援護率100%を達成するとともに、予備自衛官等の業務においては予備自衛官充足及び訓練出頭率、即応予備自衛官の採用目標を概ね達成することができました。これもひとえに皆様のご支援・ご協力のおかげだと思っております。この場をおかりしてお礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後、最も厳しく複雑なものとなっております。中国は、国防費を急速に増加させ、軍事力の質・量を広範囲かつ急速に強化し、尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動を活発化させています。北朝鮮は大量破壊兵器や弾道ミサイルなどの増強に集中的に取り組み、弾道ミサイルなどの発射を強行しています。ロシアはウクライナ侵略を継続するとともに北方領土を含む地域での活発な軍事活動を継続しており、さらには中国と共同での航空機や艦艇での活動も確認されています。

防衛省・自衛隊は、このような安全保障環境の中で、少子化による募集対象者人口の減少、熾烈な人材獲得競争という厳しい募集環境の中にあっても、優秀な人材を安定的に確保していかなければなりません。

令和八年度の募集環境は、大学や専門学校等への進学を選ぶ高校生が引き続き増加することが見込まれ、厳しく難しい対応が求められることが予想されます。また、退職予定隊員の就職援護においては、雇用情勢は好転しているとはいえ、退職者の希望に沿った就職の援助には粘り強い調整が必要となり、さらに、予備自衛官等の確保についても引き続き厳しい状況が予想されますが、昨年九月から施行された手当の大幅引き上げや勤続報奨金の拡充、採用年齢の緩和等プラス材料もあることから丁寧に説明し理解を得ることが重要と認識しています。

そのような状況の中にあっても、自衛隊鹿児島地方協力本部は、「自衛隊を支える良質な隊員を獲得する」「優良な就職援護先を獲得する」「予備自衛官等を確保することにより、国民の負託に応えることが求められております」。

勤務方針の第一項である「誠実に職務を遂行すること」を念頭に置き、隊員の人生に寄り添うことに矜持を持ち、部員一丸となつて職務に邁進して参りますので、今後とも我々の諸活動に対してご理解いただきまして、更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、各協力団体等皆様方の今後ますますのご発展とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

令和八年度募集・援護出陣式



自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和八年四月二十日（月）、「令和八年度募集・援護出陣式」を実施した。

本出陣式の目的は、令和八年度の募集・援護及び予備自衛官等業務のスタートに当たり、地本としての任務達成、各種目標の達成及び一年を通じての安全を祈願するとともに、部員全員の士気の高揚及び団結の強化を図ることです。

出陣式に際し、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会会長諏訪健彦様、副会長兒玉健二郎様および有村長藏様のご臨席を賜り、過分なるご祝辞を頂戴して、部員一同、更に身を引き締めた。

本部長は式辞で、「自衛隊鹿児島地方協力本部は、本部後援会をはじめとする関係協力諸団体、自治体、学校、募集対象者及びその保護者、雇用企業等、自衛隊鹿児島地方協力本部の任務達成に欠かすことができない方々のご格別のご支援・ご協力を賜りながら各種業務に取り組み所存であります。部員においては勤務方針を念頭におき、一人一人が任務達成のために何をすべきかを考えながらそれぞれの業務に取り組んでもらいたい。」と述べた。

最後に令和八年度の募集・援護の目標達成を祈願して恒例のダルマの目入れを行い、部員全員が令和八年度の目標達成に向けて、決意を新たにしました。

募集課
企画班

～海上自衛隊の航空祭～
海上自衛隊鹿屋航空基地エアーメモリアル参加

令和8年4月26日（日）海上自衛隊鹿屋航空基地（鹿屋市）において実施された航空祭「エアーメモリアル」に参加した。

本イベントは、海上自衛隊鹿屋航空基地が主催し、募集対象者及び保護者等に対して行った広報活動であり、鹿児島地方協力本部からは、海上自衛隊に興味がある親子連れや募集対象者等25名が参加した。

格納庫においてオープニングセレモニーが盛大に行われ、その後海上自衛隊航空学生によるドリルが実施され、参加者を大いに賑わせた。その他、海上自衛隊所属の航空機に加え、陸上自衛隊所属V-22や米軍のMV-22等の地上展示、海上自衛隊の航空機による飛行展示も行われ、自衛隊に対する理解及び隊員に対する親近感を獲得することができた。

参加者からは、「普段体験できないことが経験でき、楽しかったです。」「海上自衛隊に対する興味が湧いた」等、多数の感想をいただいた。



航空機展示の様子

募集課
広報班

CH-47JA 体験搭乗を実施して

令和8年3月7日（土）に、陸上自衛隊国分駐屯地において、西部方面ヘリコプター隊第3飛行隊（高遊原）、第12普通科連隊の支援を得て募集対象者等73名に対する体験搭乗を実施した。

本体験搭乗は、募集対象者等に対して航空機の体験搭乗を実施し、自衛隊への理解を促進するとともに認知度を向上させることを目的として実施した。

体験搭乗前の安全教育は第3飛行隊の担当者が実施し、体験搭乗では73名の参加者が3回に分けて搭乗し、約20分のフライトを体験した。飛行経路については国分駐屯地から錦江湾へ向けて移動し桜島、鹿児島市周辺までのフライトとなった。

体験搭乗に参加した学生からは「ヘリコプターの大きさ、音、風圧にすごく圧倒された。いつも動画でしか見なかったヘリコプターに実際に乗ることができて感動した。想像していたよりもパイロットの仕事が格好いいと感じた。」と自衛隊へ興味や関心が高くなった感想を多く頂いた。また、高校2年生の参加者からは「興味のあったヘリコプターに初めて乗ることができて最高でした。絶対に自衛隊のパイロットになりたいと思います。」という嬉しい言葉もいただいた。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、あらゆる機会を活用し、多くの鹿児島県民に自衛隊の活動等を紹介する機会を設け、自衛隊に対する理解促進及び認知度向上に一元となって努めていく。



総務課
企画班

令和8年度部員集合訓練を実施して

令和8年4月20日（月）及び21日（火）の2日間、「令和8年度第1回部員集合訓練」を実施した。

本集合訓練は、本部長の企図を徹底するとともに、専門及び共通の職能向上を図ることにあり、服務教育、衛生教育、体力検定及び募集・援護出陣式を実施して令和8年度の奮起を誓った。

本部長訓示においては、要望事項である「誠実に職務を遂行すること」「対象者・その家族に対して誠実であること」「社会人として誠実であること」を改めて示し、その意味するところ「自分自身の役割を今一度見つめ直し、誠実に遂行することで質の高い仕事ができ、それは同僚を助け、鹿児島地本の総力の結集に繋がる。」「10年後、20年後に、あの方にお世話になってよかったと言われるような仕事を目指そう。」「社会に役立ち、家族が誇りに思い、自ら誇りに思える生き方をしよう。」ということであると述べ、改めて各部員に矜持を持たせた。

一方、各種教育については、情報管理の再度徹底や広報官教育を通じて、部員間での最新の知識の共有を図った。また、国分駐屯地にて第12普通科連隊の支援のもと実施した衛生教育では、胸骨圧迫とAEDの使用法、CATによる止血法等の研修をし、締めくくりとして、体力検定を実施し日頃業務の合間に積み重ねた成果を確認し、令和8年度の目標達成に向け始動した。



本部長訓示の様子



衛生教育の様子



体力検定の様子

鹿児島募集
案内所

各教育機関で職業説明を実施して（鹿児島市）
～学生の関心高まる、多様な職域と勤務環境に理解深化～

鹿児島募集案内所は、令和8年度4月、鹿児島市内の大学・短大・専門学校等や地元企業の主催する進路ガイダンスにおいて、学生及び保護者等を対象とした職業説明会を実施した。

説明会においては、自衛隊に対して抱かれがちな固定的なイメージの払しょくを図るべく、ワークライフバランスの充実や勤務環境の改善状況について説明するとともに、多様な職種・職域の存在について具体的事例を交えつつ紹介した。

また、自衛隊の主任務である国防、災害派遣、国際平和協力活動について解説したほか、各種業務内容、取得可能な資格、処遇、福利厚生等に加え、職務を通じて得られるやりがいについても説明した。

さらに、理解度向上を目的とした設問形式を取り入れ、学生の主体的な参加を促進した。あわせて、広報官が志願から入隊に至るまでを一貫してサポートするパートナーであること及び各種採用制度について説明し、学生の進路選択に資する理解促進に努めた。

参加した学生は、任務遂行と休養取得の両立が図られている点や多様な職種・職域に高い関心を示しており「自衛官から直接説明を受けたことで理解が深まった。安心して志願できそう。」等の感想があり、自衛隊への理解を深めることができた。





援護課
予備自衛官班

予備自衛官1日間招集訓練

令和8年4月26日（日）、自衛隊鹿児島地方協力本部において、今年度初の予備自衛官1日間招集訓練を実施、19名の予備自衛官が参加した。

本訓練は、予備自衛官としての必要な知識を習得させることを主目的としており、今年度は、4回の1日間招集訓練を計画している。

訓練開始にあたり本部長訓示では、「予備自衛官として新たなスタートを切られた皆様方は、次年度の5日間招集訓練に向けて、今後とも健康に十分留意され体力の維持向上に努められるとともに、地域社会と自衛隊との相互理解の架け橋としても尽力していただきながら、国家防衛の重要な存在である予備自衛官として邁進されるようお願いいたします。」と訓示した。

訓練では、応招確認システム操作教育及び今年度から新たに導入される予備自衛官等管理システムについて説明し、即応体制の維持に努めた。また、訓練に参加した隊員は終始、真剣な表情で説明を聞き、次年度から始まる5日間訓練に向けて決意を新たにしていた。

自衛隊鹿児島地方協力本部予備自衛官班は、今後も訓練参加者と連携を取りつつ、地域住民と自衛隊の架け橋となる予備自衛官の出頭環境の醸成を図っていく。



援護課
援護企画班

「令和8年度キャリアアップセミナー」を実施して

自衛隊鹿児島地方協力本部援護企画班は、令和8年5月21日（木）陸上自衛隊国分駐屯地、5月22日（金）海上自衛隊鹿屋航空基地において、キャリアアップセミナーを実施した。

国分駐屯地では任期制4名、定年制3名、中隊長等4名、鹿屋航空基地では定年制12名、そのほか就職援護隊員21名、合計44名が参加した。

本セミナーは、早期離職対策として令和7年度から新たに企画したもので、任期制隊員及び若年定年制隊員に対して、再就職するに当たっての必要な知識の付与を目的とし、合同企業説明会参加に向けての準備・心構えを教育した。

OB講話では、株式会社にしけい 人事部担当部長 壇 雅昭氏による題目「充実した新たな人生に向けて～再就職先選定の考え方及び入社後の意識と行動」を聴講し、企業が考える採用の基本的な考え方を意識させることにより、再就職に向けて現在の置かれている立場や自衛隊退職後の人生を充実させるための再就職先選定と離職回避について考える良い機会となり、再就職準備へのイメージアップに繋がった。

参加隊員からは、「今回の講話を聴いて、悩んでいたことがすべて吹き飛び、退職前に自分がやらなければならないことの考えがまとまった。」等、多数の感想が得られた。



国分駐屯地の様子



鹿屋航空基地の様子

各所・センターの話題

鹿児島地本各所・センター一丸となった、各地域での活動をご覧ください。

徳之島駐在員事務所

徳之島高校・亀津中学校
南西航空音楽隊演奏指導



奄美大島駐在員事務所

与路小・中学校
奄美基地分遣隊研修



種子島駐在員事務所

屋久島中央中学校
職場体験学習



国分地域事務所

伊佐市春フェス
車両展示コーナー



鹿児島募集案内所

青少研 GOGO 若葉フェスタ
市街地広報



大隅地域事務所

志布志お釈迦まつり
市街地広報



知覧分駐所

高等工科学校生徒
リクルータ広報活動



薩摩川内出張所

ミサイル艇おおたか
長浜港一般公開



鹿屋地域事務所

新隊員母校訪問
鹿屋中央高校



国分駐屯地援護センター

陸士就職補導教育
ビジネスマナー研修



川内駐屯地援護センター

企業研修
JPロジスティクス株式会社



鹿児島地域援護センター

任期制退職予定隊員インターンシップ
株式会社南電工



令和8年度 鹿児島県自衛隊広報大使



シンガーソングライター
Yoko*



鹿児島フリータレント
山口ひかり



がんばるあなたの応援団！
じゃんけんマン



モデル
斎藤奈菜香



走る冒険家
Ponちゃん



令和8年4月13日鹿児島第2地方合同庁舎において「鹿児島県自衛隊委嘱式」が行われ、5名の方々が委嘱されました。今年度も、5名それぞれのお力をお借りして募集につながる各種行事を企画・調整を進めていきます。

令和7年度 広報大使活動報告



走る冒険家Ponちゃん♪
日本縦断で全国各地の地本を
表敬訪問
走る！つながる！拡がる！



Yoko*さん♪
まもる君とコラボ
「鹿児島地本CM曲」フルバー
ジョン「トモに」を大熱唱♪



斎藤奈菜香さん
公式SNSで大反響の
艦艇とコラボショット



鹿児島地本主催イベント
のMCといえば山口ひかり
さん



じゃんけんマン&
Yoko*さん♪
今年も川内駐屯地記念行
事を歌とじゃんけん大会
で盛り上げました

人事往来

【転出者】（鹿児島地本配置）

自衛官

3等空佐 清水 幸郎
第12飛行教育団（大隅地域事務所長）

1等陸尉 柴田 良和
湯布院駐屯地業務隊（募集班長）

准陸尉 永山 厚仁
第12普通科連隊（知覧分駐所長）

准空尉 榮 真路
北部高射群（徳之島駐在員事務所長）

海曹長 田野 敦子
第1整備補給隊（鹿屋地域事務所）

1等陸曹 森 建太郎
第12普通科連隊（知覧分駐所）

1等陸曹 有村 愛
第12普通科連隊（国分地域事務所）

2等陸曹 緒方 裕紀
第12普通科連隊（鹿児島募集事務所）

2等空曹 小平 大介
第5航空団（薩摩川内出張所）

事務官等

有村 光浩
自衛隊神奈川地方協力本部（副本部長）

土居 美紀
自衛隊長崎地方協力本部（援護課長）

小湊 克裕
海上幕僚監部（援護課）

袋野 浩良
相浦駐屯地業務隊（援護課）

土谷 麻里
自衛隊佐賀地方協力本部（総務課）

上村 宏
えびの駐屯地業務隊（総務課）

香川 真希子
自衛隊宮崎地方協力本部（募集課）

坂本 将騎
陸上幕僚監部（総務課）

野田 悠輔
川内駐屯地業務隊（総務課）

橋本 汐音
施設学校（総務課）

【転入者】（前配置）

3等陸佐 阿南 徹
募集班長（自衛隊大分地方協力本部）

3等陸佐 嶋田 強司
募集企画班長（北海道補給処多田弾薬支処）

1等空尉 菊地田 隆一
大隅地域事務所長（第12飛行教育団）

准陸尉 菊永 誠
人事係長（第12普通科連隊）

陸曹長 倉 祐介
知覧分駐所長（第51普通科連隊）

1等海曹 竹下 百恵
鹿屋地域事務所（第1整備補給隊）

2等陸曹 中村 要介
知覧分駐所（第12普通科連隊）

2等陸曹 新平 聖也
国分地域事務所（第43普通科連隊）

2等空曹 山本 淳
薩摩川内出張所（第12飛行教育団）

事務官等
増田 賢之
副本部長（補給本部）

渡邊 優樹
援護課長（航空幕僚監部）

松浦 光洋
予備自衛官班長（自衛隊福岡地方協力本部）

原岡 良司
管理班長（自衛隊栃木地方協力本部）

田中 聖一
人事班長（石垣駐屯地業務隊）

関 孝史
援護企画班長（富士学校）

福田 孝誠
会計班長（飯塚駐屯地業務隊）

末廣 和斗
庶務係長（玖珠駐屯地業務隊）

【新規採用者】（地本配置）

新規採用者
竹内 優翔（総務課）

三倉 里菜（募集課）

新規再任用短時間
大迫 幸二（総務課）



自衛隊鹿児島地方協力本部 099-253-8920

鹿児島地本
HP



鹿児島地本

検索

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802

事務所名	電話番号
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

陸海空自衛官募集

WHY?



答えがここでした

陸海空
自衛官